

令和8年度 全国安全週間 唐津労働基準監督署長メッセージ

全国安全週間は、「人命尊重」という基本理念の下、職場における「安全文化」を醸成するため、昭和3年に初めて実施されて以来、一度も中断することなく続けられ、今年で99回目を迎えます。

令和8年度の全国安全週間は、

多様な人材 全員参加 みんなで育てる安全職場

のスローガンの下、6月1日から6月30日までを準備期間とし、7月1日から7月7日まで、全国で展開されます。

当署管内における令和7年の休業4日以上¹の死傷者数は、コロナ感染症によるものを除き155人で、令和6年と比べて2人減少したものの、中長期的には増加傾向にあり、リスクアセスメントなどの先取り型の安全対策を引き続き進めるとともに、労働災害の多くを占める高年齢者による転倒や腰痛などの行動災害に対する実効ある取組を行うことが求められております。

当署としましても、このような状況を踏まえ、令和5年度から同9年度までを計画期間とする「佐賀労働局第14次労働災害防止計画」を着実に実行するとともに、新たな取組も行い、労働災害の減少を図ってまいります。

また、これから本格的な夏が到来します。厚生労働省では毎年5月から9月までの間「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」と題し、職場における熱中症防止の周知・啓発を行っています。令和8年3月に策定された「職場の熱中症防止対策のためのガイドライン」に沿って、熱中症対策に取り組んでいただき、熱中症を重篤化させないことが重要です。

職場の安全は、経営トップによる労働災害防止への強い決意の下、性別、国籍、雇用形態などが異なる多様な人材が、職場の安全活動に主体的に参加し、労働災害防止という目標に継続して取り組むことで実現するものです。

全国安全週間を契機に、改めて職場のみなさん全員が「自分が主役」になって日々の安全活動に取り組んでいただき、誰もが安心して働き、活躍できる職場としていただきますようお願い申し上げます。



唐津労働基準監督署長 平山 正